

学校と地域の融合教育研究会

会 報 NO.19

ゆるい



マーク制作:関根啓子(秋津コミュニティ:蚊帳の海一座)

2002.6.30

融合研のホームページは、<http://www17.u-page.so-net.ne.jp/qc5/you-go/>

事務局;〒273-0122千葉県鎌ヶ谷市東初富3-23-6 TEL/FAX お47-445-3669

本号の内容

- 1 福岡フォーラムの最終状況・申し込み受付ほか
- 2 広がる会員の活動;各地で主体的にフォーラム開催がさかん、会員も大活躍
岩手県紫波町フォーラム

新聞・雑誌の掲載記事
- 3 連絡いろいろ
ホームページに、各地のミニフォーラムの案内が載っています
メールでのやりとりから
テレビ出演、および本やビデオによる活動の紹介

大反響;「融合フォーラム2002in福岡」の状況・締め切り迫る

融合研創立5周年記念&初めて西日本で開催の福岡フォーラムまで、一ヶ月あまりとなりました。今回は、休暇がとりやすい時期に開催されることもあり、これまで都合がつかなかった「その道の第一人者」にも、たくさん参加をいただけます。また、提言者等の日常活動が新聞紙上で連載されていることもあり、大きな反響を呼び起こしているようです。会場の都合で参加の締め切りが早いこともありますので申し込みはお急ぎください。なお参加を迷っている方や、締め切り後に都合がついた方のために、受付に若干の余裕をとりましたが、どうぞ多くの会員の参加をお待ちしています。会員以外にも奮ってご参加できるよう呼びかけてください。

融合フォーラム2002in福岡(最終案)

- ・全体テーマ案 さあ本番!学社融合の教育創造! 子どもがたなく学社融合
- ・主催:学校と地域の融合教育研究会
- ・後援;福岡市教育委員会、北九州市教育委員会、西日本新聞社、日本教育新聞社(後援申請中)、(財)全日本社会教育連合会(後援申請中)、農山漁村文化協会(後援申請中)

- ・開催日：8月10日(土)13:00 ~ 11日(日)15:00
- ・開催会場：福岡県立社会教育総合センター (参加の申し込みは、事務局へ)
〒811-2402福岡県粕屋郡篠栗町大字金出3350-2
電話092-947-3511/FAX092-947-8029
- ・参加費 会員¥1000/会員外¥2000/学生はどちらも半額
1日でも2日通して参加も同額。当日受付時に入会の場合は会員扱い。
- ・懇親会費 ¥3,000
- ・宿泊費ほか¥2,000程度
宿泊は450人可能です。ただし相部屋2~4人です。申し込みは、1ヶ月前までに済ませなければなりませんのでお急ぎください。
参加の申込書は、別紙に記入しファックスで。または、ホームページから事務局へ。

1日目 8月10日(土曜日)

<全体会>

- ・12:00 受付 *12:00~
- ・13:00 開催行事 主催者挨拶・分科会関係者・屋台フォーラム発表者・ファシリテーター等の紹介+連絡事項
- ・13:30 提言
 1. 高齢者は社会の資源だ! 庄子平弥融合研副会長(仙台シニアネット)
 2. 佐賀県「学社融合」のこれまでとこれから 村岡智彦会員(佐賀市立嘉瀬小学校長)
 3. インターネットで出会いをあそぼう! IT時代の子どもたちとともに
*斎藤正一融合研事務局次長・NPO法人LIT理事長(千葉)他+子どもたち
- ・15:00 移動
- ・15:15 分科会;
 - A. 学社融合っておもしろい!
コーディネーター: 桑原広治会員(熊本県五木北小学校教頭)
<事例発表>
仙波英徳会員(愛媛県・松山市PTA連合会YOUGOネット委員長・前市P連会長)
村上弘会員(前北九州市教育委員会社会教育主事)お年よりと学ぶ「尋常小学校」
越田幸洋融合研プログラム研究開発委員長(栃木県・鹿沼市立石川小学校教頭)
 - B. 地域・行政とともに歩む学校・コミュニティづくり
コーディネーター: 重松孝士氏(福岡県立社会教育総合センター所長)
<事例発表>
西川敏之会員(山口県大島郡教育事務協議会)
大畑伸幸会員・渋谷秀文会員・勝部薫氏(島根県益田市含む7つの市町村「綺羅星7」)
氏原昭彦氏(群馬県企画部企画課特定課題推進グループ)+戸叶俊文会員(群馬県大島公民館主査)
野口正之氏(北九州市門司区藤松公民館事務局長)
 - C. 環境学習とピオトープづくり
コーディネーター: 田中敏久会員(西東京市立柳沢小教員・全国学校ピオトープネットワーク理事)

<事例発表>

今野英山氏（東京都練竹中工務店技術研究所・先端研究開発部）

漁船政子氏（高知県・高知子どもの遊びを考える会代表）

槇重善会員（千葉県習志野市秋津コミュニティ運営委員 + 田中宏実会員（千葉大院生）

栄永徳博氏（熊本県水俣市環境対策課長）「学校版ISOの環境学習」

D. 総合型地域スポーツクラブとコミュニティづくり

コーディネーター：森川貞夫会員（東京都・日本体育大学教授・体育社会学研究室）

<事例発表>

田上洋介会員（長野県木曽郡上松町教育委員会教育次長）

中平稔人氏（福岡県教育庁教育振興部スポーツ健康課生涯スポーツ班・社会教育主事）

田中理恵子氏（福岡市主婦卓球愛好会）

嶋村清一氏（千葉県・習志野市ベイサイドスポーツクラブ運営委員長）

- ・ 17:30 休憩+移動 * 17:30~18:00 屋台フォーラム発表者の打合せ
- ・ 18:00 屋台フォーラム * サンドイッチ程度の軽食
* 屋台を覗き気に入った屋台に腰掛けてメニューを聞きながら店主と楽しく交流する方法
- ・ 20:00 懇親会+セリ市+次回開催地候補宣言

2日目 8月11日（日曜日）

- ・ 9:00 ファシリテーターによる1日目の全分科会の報告 吉田まりえ氏（福岡）ほか
コーディネーター：渡邊正親会員（前新潟県立生涯学習推進センター所長・大養小学校長）
- ・ 9:30 提言
4. 学校の安全と地域のノーマライゼーション 種田祝次会員（千葉・秋津コミュニティ）
5. 完全学校週5日制とコミュニティづくり 岸裕司融合研副会長（千葉・秋津コミュニティ）
- ・ 10:00 講演：寺脇研氏（文部科学省審議官・生涯学習担当）
- ・ 11:30 パネルディスカッション
テーマ：学校と地域の融合～それぞれのアプローチから
パネラー：寺脇研氏
油谷雅次会員（大阪府社会教育委員・貝塚市北小学校ふれあいルーム）
江口勝善会員（千葉県鎌ヶ谷市小学校長・水俣市出身）
松浦義和会員（広島戸宇小学校長・前広島県尾三教育事務所生涯学習課長）
コーディネーター：宮崎稔融合研会長（千葉県習志野市立大久保東小学校長）
- ・ 13:00 昼食 * 融合研会員は昼食を取りながら総会
- ・ 14:00 ふれあいタイム * 話したりない聞きたりない方の出会いの場。昨年から設けて大好評！
- ・ 15:30 終了解散

参加申込 * 融合研のホームページからメールで申し込むこともできます。

FAXでの申込先：別紙用紙によりFAXまたは郵送でお願いします。

FAX047-445-3669（電話も同じ）

〒273-0122 千葉県鎌ヶ谷市東初富 3-23-6 学校と地域の融合教育研究会事務局 宮崎宛

融合フォーラム2002 in 福岡 参加申込書 (FAX・郵送用)

ホームページから、メールで申し込むこともできます

お名前

会員ですか はい(会員No.)・いいえ

(自宅)〒

E-mail

電話

参加の形態(A～Fのいずれかを でかこむ)* 学生の場合は を 学生です

日程等(8月10日・11日)			A	B	C	D	E	F
一日目	分科会	昼食						
	屋台フォーラム	懇親会費						
	懇親会/全国せり市	宿泊費						
二日目	講演	朝食						
	パネルディスカス ふれあいタイム	昼食						
参加費								
必要経費(会員)			5,100円	5,100円	4,000円	2,100円	4,000円	1,000円
必要経費(会員以外)			6,100	6,100	5,000	3,100	3,000	2,000

* 各昼食代(590円)は含まれておりませんが、食数を報告する関係上、上記A～Fをお選びください。(注文数のみ準備してくれます)

* 学生は参加費が半額です(学生会員500円/会員外学生1,000円)

屋台での事例発表をしますか。発表する方は を 発表する

発表はしなくても資料提供は大歓迎です。せり市での名産品の提供もお待ちしています。

(送り先は、福岡県立社会教育総合センターまで。8/5～8/7必着のこと)

福岡県立社会教育総合センター (ご注意:参加の申し込みは、下記融合研事務局です)

〒811-2402福岡県粕屋郡篠栗町大字金出3350-2

電話092-947-3511/FAX092-947-8029承諾

段ボール等で梱包し、宛先のほかに「融合フォーラム用」「分科会資料・提言資料・屋台資料・せり市」等を明記。

発表用資料・せり市用品物の送付

資料送付期限 2002年8月5日(月)～7日(水) 必着

* 各自で印刷して350部送付してください。A4サイズに統一。

宿泊先 福岡県立社会教育総合センター

交通機関の案内

バス:福岡空港から新飯塚駅行きまたは後藤寺行きで「篠栗上町下車」(470円、約25分)

福岡空港発 9:28 9:58 10:28 10:58 11:38 12:18 13:18 14:18

* 上記のバスは、博多駅発～福岡空港経由です。博多駅発は、これより12分早い発車です。

電車:博多駅からは JR 篠栗線篠栗まで27分。(1時間に4～5本あり)

タクシーで博多～会場まで3500円位 / 篠栗駅から会場まではバスもあるがタクシーで5分(830円)

尚、福岡フォーラム専用につけた「福岡ML」にも登録いただきたくお願いします。

福岡ML登録【yugo-fukuoka】 <http://www.egroups.co.jp/group/yugo-fukuoka>

福岡MLアドレス(投稿のみの場合) yugo-fukuoka@egroups.co.jp

学校と地域の融合教育研究会のホームページ <http://www17.u-page.so-net.ne.jp/qc5/you-go/>

会員の活動状況より

岩手県紫波町融合フォーラム

6月1日(土)岩手県紫波町で、開催された「融合フォーラム2002 in 紫波」は、200人参加で大盛況!

松山市のPTA 連合会です。

13年11月6日の 岸 裕司さんの松山市PTA 研究大会における「学校を基地にイキイキ子育てまちづくり学社融合の教育創造」の講演による秋津菌の感染から、14年2月23日 宮崎 稔会長 他3名による「学社融合フォーラム」を受け、14年度 一回目のYUOGO ネット勉強会を開く事が決定しました。

場所 松山市青少年センター大ホール

松山市築山町12-33 .943-3346

日時 平成14年5月25日(土) 10:00～12:00

講演内容「学校と地域で築く教育力」～学公融合(学校と公民館の融合)～

～「総合的な学習」選択教科の学習を通して～

講師: 富士宮市教育委員会生涯学習課課長補佐 渡邊喜久氏

今回は 松山市の考える学校・公民館の融合を目指す 学公融合に焦点を当てて勉強したいと思っています。33の公民館代表の方も同時参加する予定です。参加自由ですので ひやかしにお立ち寄りください。

新聞・雑誌の掲載記事 (記事のコピーは、末尾をごらんください)

- 1 岸裕司;月刊「悠」2001年12月号「融合の発想で外部スタッフの導入を」
- 2 融合研・秋津小・宮崎稔;「新潟日報」2001年12月15日号社説「学校を開く」
- 3 新潟十日町小・豊栄小ほか;「新潟日報」2001年12月25日号社説「夢のある学校」

- 4 越田幸洋；「社会教育」2001年12月号「地域の支援で感性を育む学校教育のありかた」
- 5 秋津小；「十勝毎日新聞」2001年11月24日号「学校・地域の融合」
- 6 岩手県東和町；「岩手日日」2001年11月27日号「学校と社会両教育融合の地域づくり」
- 7 庄子平弥；「産経新聞」2002年1月13日「新定年事情」
- 8 融合研・宮崎稔；「地域新聞 習志野版」2002年1月18日「学校と地域の融合教育研究会」
- 9 宮崎稔；季刊「教育と文化」2002年冬号「学校からの発信で支え合う街」

これからも、事務局へ情報をお寄せください。

広く掲載されたものや事務局へ届いたものは、会報への転載を了承されたものとさせていただきます。転載されたくない場合は、その旨ご連絡ください。

プログラムバンク

融合研では、学社融合を進めるための手法を共有するという観点から、「人材バンク」ではなくて、「プログラムバンク」作りを進めています（責任者として委員長に越田幸洋さん（鹿沼市石川小）。今後ホームページにも掲載しながら、それぞれの活動の一覧を作成する予定です。会員の皆さんがお持ちの実践を、どうぞ事務局へ投稿してください。

[まだまだ情報満載「学校開放の動き 2例」](#)

1 新潟県新井市のすごい試み（原省司会員のメールより）

上越フォーラムにユニークな事例報告もしてもらいましたし、シンポジウムに教育長始め教育委員会のメンバーが大挙して参加してくれていた、あの新井市（上越市の南隣り、人口約3~4万人？）が、365日、学校を開放することになったようです！！ これって凄いですよね！！

（上越タイムス記事より）

* 養護学校を含む市内の全ての小中学校で、朝9時から夜10時まで、年間を通じて開放。

* 学校の管理に地域もかわり、地域と共にある学校を目指す。

* カギの管理を地域で組織する利用者運営組織にゆだねる。

* 特別教室も開放。（いままでは夜間や休日の体育館、グラウンドだけだった。）

（ピアノ、オルガン、調理器具など備品類も授業で使用中外は いつでも使用できる。）

（パソコン類は指導者が付くことが必要。）

教育委員会のコメント

学校を新たな活動の場として生涯学習の輪を広げながら、次代の子どもたちをみんなで育てていくことが大切。地域住民が学校へ入ることで理解が深まるし、教育への協力者も増える。大人の活動を子どもたちが見たり、いっしょに参加し、交流することが大切です。

2. 大阪府の高校での試み (小坂雄二会員のメールより)

大阪府教育委員会は、4月25日に高校の余裕教室を、6月からNPO法人や市民活動団体に貸し出すと発表。高校の余裕教室の貸し出しは全国でも初。

大阪府教育委員会は、今年度府下の高校の26校33教室を、NPO法人や市民活動団体の活動の場所に貸し出すモデル事業を始めた。このうち12校は、国際交流や子育て、伝統文化などに限定。使用方法は、基本的に月～金の学校が開いている9時～17時の間。

希望団体は、5月15日から大阪府教育委員会地域教育振興課に申込みもの。

大阪府教育委員会地域教育振興課は、「NPO法人や市民グループのネットワークを学校教育に役立てたい」とし、使用料は光熱費等の実費負担で今年度は無料」としている。

文部科学省によると、昨年度の全国の小中学校の余裕教室は6215。しかし、大半は学内利用の特別教室や子ども達の交流スペースに充当、地域に開放されたのは、社会教育や高齢者施設で245(4%)教室である。

「小さな一歩が、テレビ出演」

このところ、フォーラムのたびに事例報告をしている静岡県引佐町の融合事例が、NHKで以下のように放映されました。富士宮フォーラムに参加された方は、懇親会である「学校の家庭科室でオリジナルの焼き肉のタレを作って売った」方々を覚えていることと思います。あの方々の活動です。歴史としがらみのある「古い」地域で、普通のPTA会員が学校を舞台にして活動している事例紹介です。学社融合の「はじめの一歩」を手探りでやっている実に純粋な活動です。代表の高井千幸さんからのメールが以下です。

(高井さんのメールより)

NHKの取材は、連休前に終わりました。題材もないような活動ですが、「はじめの一歩を撮りたいから充分です」の言葉に受けてしまいましたか!? 2日間の取材で、きっと編集が大変だろうなあって思っています。

5月16日(木曜日)23時から「教育フォーカス」にて放映されます。(注 NHK教育テレビです。前身の番組は「教育トゥデイ」です)良かったらみて下さい。

少しずつ地域が 県が 変わってきているのを感じます。今月も、2つ研修会に参加します。一緒に手探り状態から、手を取り合い、元気でいきます

連絡1313

ホームページに、各地のミニフォーラムの案内が載っています

会員の活動の活性化に伴って、今年度からは本部とその地域で共催する形のミニフォーラムを、各地の主体性に任せて開催するという形をとりました。ホームページに各地での開催内容等が掲載されていますので、ご都合をつけて積極的に参加されることをお勧めします。

および本やビデオによる活動の紹介

「新潟県の教育改革」が、ビデオになりました。

これまで、教育改革に積極的に取り組んでいる新潟県の事例が、一連のビデオになりました（富士の宮フォーラムでも紹介がありました）。

会費は郵便局へ振り込んでください!

会費等は郵便局へ振り込んでいただきたいと思います。よろしくお願いします。

(記号)10500 (番号)42592921 宮崎 稔 (住所)285 - 0843佐倉市中志津7 - 17 - 4融合研

事務局が移転しましたが、振込先はそのままです。
2002年度からの会費は、3000円です。前年度分が未納の方いっしょにお願いします。